



# 冷熱衝撃試験

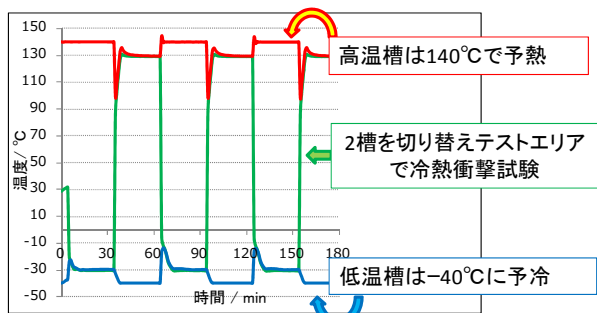
急激な温度変化に曝される電子部品や金属・樹脂部材等の耐久性を評価いたします。

車の自動運転技術に欠かせないカーエレクトロニクス製品は、車の安全性に直結するため、高い耐久性、信頼性が要求されます。本試験では、高温と低温を短時間で繰り返し移行させることにより、熱衝撃を与え、電子部品や金属・樹脂部材等の耐久性を評価いたします。

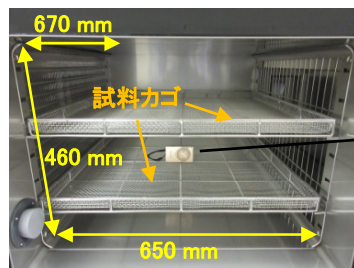
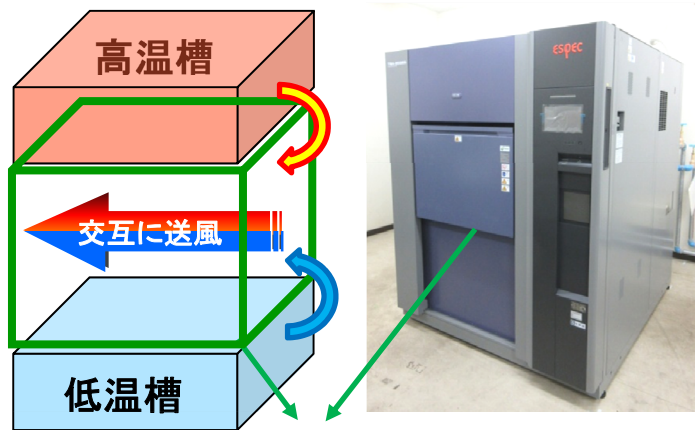
## 冷熱衝撃試験機

型式	TSA-203ES-W
テストエリア (容量)	W650 × H460 × D670 mm (200L)
高温さらし温度範囲	+60 ~ +200°C
常温さらし温度範囲	室温依存
低温さらし温度範囲	-70 ~ 0°C
復帰時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>• -65 ⇄ 150°C (※1) 10分以内</li> <li>• -40 ⇄ 125°C (※2) 5分以内</li> </ul>
耐荷重	50 kg (試料カゴ含む)

※1：槽内試料26kgでのメーカー確認の実績あり  
 ※2：槽内試料16kgでのメーカー確認の実績あり



(例) -30°C ⇄ +130°Cの冷熱衝撃試験



試験サンプル設置例  
 コンパクトデジカメ  
 (サイズ比較用)

## 対応規格

試験規格	さらし温度(°C)			さらし時間		温度復帰時間	試験サイクル数	
	高温	常温	低温	高・低温	常温			
MIL-STD-883H METHOD 1010.8	A	+85 <sup>+10</sup> / <sub>0</sub>	-	-55 <sup>0</sup> / <sub>-10</sub>	10分以上	-	最悪条件の 試料温度が 15分以内	最低10サイクル
	B	+125 <sup>+15</sup> / <sub>0</sub>						
MIL-STD-202G METHOD 107G	A	+85 <sup>+3</sup> / <sub>0</sub>	+25 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	-55 <sup>0</sup> / <sub>-3</sub>	試料重量により異なる	最大 5分	試料風上で 5分以内	5、25 50、100 サイクル
	B	+125 <sup>+3</sup> / <sub>0</sub>		-65 <sup>0</sup> / <sub>-5</sub>				
	F	+150 <sup>+3</sup> / <sub>0</sub>						
IEC 60068-2-14 (JIS C 60068-2-14)	+70~+200	-	-5~-65	3時間、2時間、1時間 (規定が無い場合3時間)	-	さらし時間の 10%以内	規定がない限り 5サイクル	
JASO D 014-4	+65~+160	-	-20、-40	20分、40分、 60分、90分	-	さらし時間の 10%以内	規定がない限り 5サイクル	
EIAJ ED-2531B Na	+60~+100	周囲温度	0~-50	3時間、2時間、1時間 30分、10分 (規定が無い場合3時間)	2~3 分	さらし時間の 10%以内	5、10サイクル	



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2016 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。